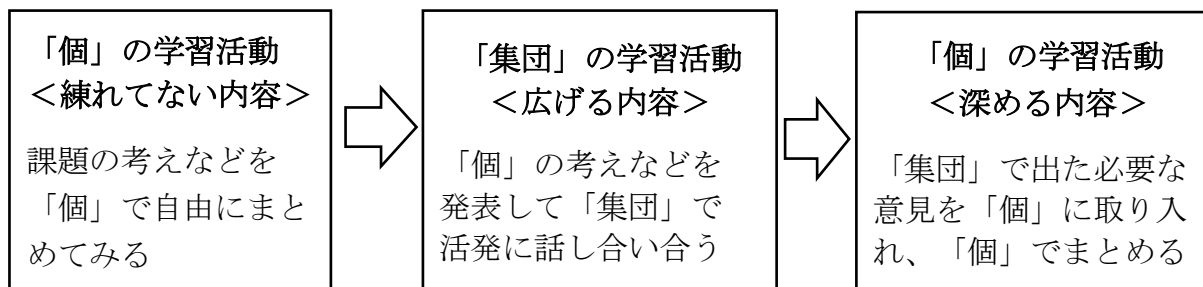


## <105>生徒同士の学び合いを活用する「授業づくり」のエッセンスは？

生徒同士の学び合い活動を活用して、効果的な学習指導をする「授業づくり」のエッセンスは、次に示すように「個」→「集団」→「個」の順序にするのがよいと思います。



「集団」の学習活動には、「高め合い」「助け合い」「役割分担」があります。3つの内容については、参考資料をご覧ください。「集団」では、漫然と話し合うのではなく、互いに学び合うことを認識して、時間の許す範囲で自由に発表し合います。学び合いには、話し合い活動の時間や司会などの役割を場合によって決めるなど、最低のルールが必要なことも伝えるとよいでしょう。

### 参考資料：「高め合い」「助け合い」「役割分担」の内容

高め合い	設計・計画や作業などの学習場面で互いの知恵を出し合い、問題が生じた時の解決方法を探るなどして、個で及ばないことを集団で高め合って解決していくことです。
助け合い	わからないものを教えたり、作業の手助けをして仕事を合理的に進めたり、個人が気づかない誤った問題の解決を班で可能にするなどです。設計や加工法での知識面の教え合い、作業過程で材料を押さえるなどの手助けなどがあります。単に一方的な助け合いでなく、教えることが自分自身を高め、相互の関係のなかで学び合いに発展していくような配慮が必要です。
役割分担	共通で行う授業の準備や片づけ、班での共通の学習や仕事などを分担する。共通の課題のある部分を受け持つことで互いに補い合い、全体の目標を達成する、などです。